2020 年度 小委員会活動成果報告

（2021 年　2 月　8 日作成）

小委員会名	改訂人間環境学刊行小委員会	**主 査 名**：松原斎樹 **就任年月**：2020 年　4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	環境工学本委員会（環境心理生理運営委員会）	**委員長名**：持田灯 **主 査 名**：宗方淳
設　置　期　間	2020 年　4 月　　～　　2022 年　3 月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	（設置目的） 1998 年 4 月に刊行された「人間環境学」（朝倉書店）が刊行から 20 年を経たが、この間の学問分野の発展を考慮し、それらの内容を含む全面的な改訂を検討してきた。主たる目的は、人間と環境の関わりに関する基礎知識を授け、学生が建築設計課題に取り組む上で考えるべき、さまざまな心理・行動的観点に気づかせることであり、都市・建築系の学部生が、設計演習課題のエスキスを構想する段階で、人間にとってよい建築、環境をイメージするために有益的な情報を多数盛り込むものである。 初年度：刊行する書籍の企画・内容について詳細な検討を重ね、書籍の完成形や本文の語り口、難易度などの諸点について委員間で認識の共有化を図る。これまでの議論を元にして、各章・各節の順序や内容、範囲などを最終的に決定し、章ごとにとりまとめの担当者を決める。その後、担当執筆者に依頼する。 ２年度：2021 年 10 月に第一次原稿を収集し、委員相互で意見交換を行う。さらに続けて運営委員会内部での査読を行う。その後、第二次原稿を収集し、環境工学本委員会、環境心理生理運営委員会の査読結果を反映させた上で校了する。2022 年 2 月の脱稿を目指す。	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：無し 主査：松原斎樹（京都府立大学） 幹事：辻村壮平（茨城大学） 委員：秋田剛（東京電機大学）、諫川輝之（東京都市大学）、大井尚行（九州大学）、大野隆造（東京工業大学）、合掌顕（岐阜大学）、讃井純一郎（関東学院大学）、佐野奈緒子（東京電機大学）、白川真裕（日本大学）、土田義郎（金沢工業大学）、西名大作（広島大学）、宗方淳（千葉大学）、山中俊夫（大阪大学）	
設置 WG （WG 名：目的）		
2020 年度予算	90,000 円	**ホームページ公開の有無**：有 **委員会 HP アドレス**：無

項　　目	自己評価
委員会開催数	3　回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	１．人間環境学
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー等） *能力開発支援事業委員会承認企画	
~~大会研究集会~~	~~1．（名称）　　参加者数　　名~~ ~~（資料名）~~

対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 **（当初の活動計画と得られた成果との関係）**	１．当初の活動計画は年 6 回の委員会開催を予定していたのに対して、2020 年度は 3 回となったが、この理由は章ごとに小さなサブグループを作り、各章で議論を深められるように進め方を効率的に変更したためである。 ２．委員会の開催数は予定より少なかったが、作業の効率化を図った結果、進捗状況としては当初の予定通り進めることができた。
委員会活動の問題点・課題	１．次年度は小委会の開催期間をもう少し短くし（2～3 ヶ月のスパン）、章ごとのグループでの議論や執筆が一層円滑になるよう連携をはかる。

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	(A)　B　C　D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	当初の活動計画として年に 6 回の委員会開催を目標としていたのに対し、2020 年度は 3 回と半数の開催であった。しかしながら、当初の目標であった①刊行する書籍の企画及び内容の詳細な検討、②書籍の完成形や本文の語り口、難易度などの諸点について委員間での認識の共有化、③これまでの議論に基づいた各章・各節の順序や内容、範囲などの最終的な決定、④章ごとのとりまとめ担当者及び担当執筆者の決定、については達成することができた。以上より、委員会開催数を減らしたにもかかわらず、目標としていた充分な成果が得られていることから、効率的に委員会活動を実施できた点も考慮し、総合評価を A と判断した。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画･目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価･外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。